



2021年5月14日

各 位

会 社 名 株式会社インターネットインフィニティー
代 表 者 名 代表取締役社長 別宮圭一
(コード番号：6545 東証マザーズ)
問 合 せ 先 常務取締役 星野健治
(TEL. 03-6779-4777)

通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2020年5月15日に公表し、2020年11月13日に修正いたしました2021年3月期通期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値の差異について

2021年3月期通期業績予想と実績値の差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (2020年11月13日公表)	百万円 3,361	百万円 84	百万円 161	百万円 127	円 銭 23.43
実 績 値 (B)	3,468	165	249	150	28.08
増 減 額 (B-A)	+107	+80	+88	+22	—
増 減 率 (%)	+3.2	+94.6	+54.9	+18.0	—
(ご参考)前期実績(2020年3月期)	3,575	216	216	122	22.96

2. 差異の理由

2021年3月期通期業績につきましては、レコードブック事業において、昨春の緊急事態宣言期間を中心に、高齢者の外出自粛によるサービスの利用控えが見られたことにより利用者数が減少しておりましたが、その後は感染防止対策の徹底や利用を促す各種施策を継続して実施してきたこと等により、冬場の感染拡大や二度目の緊急事態宣言発出による利用者数落ち込みの影響が、想定よりも限定的となりました。また、Webソリューション事業では、主にシルバーマーケティング支援や仕事と介護の両立支援において、上期に大きく落ち込んでいた新規案件の獲得が、下期にかけては想定よりも回復してまいりました。それらの結果、売上高は計画を上回りました。

営業利益及び経常利益につきましては、主に売上高が増加したことに伴い計画を大きく上回りました。当期純利益につきましては、助成金を活用した備品の購入に対して固定資産圧縮の処理を行ったことに加え、レコードブック事業の一部の店舗において、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い新たに減損処理を実施したことにより、計画外の特別損失が発生したこと等が影響し、計画と比較してやや上回る結果となりました。

以 上